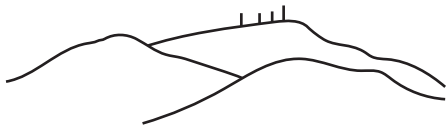


# Youth Manna

2020/7/13 - 7/19



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/7/13(月)

## Ⅱ列王記 15:1-22

ユダの王アザルヤの時代に国はとも強くなったけど(Ⅱ歴 26)数々の成功はここでは記されていない。あるのは、主の目にかなうことを行ったけど高き所を取り除かなかったこと、そして不従順の結果ツアラアトに冒されたこと。ここには人の目に偉大に見えたアザルヤが、神様の目にどう歩んだかが記されている。僕らも、神様の前にどう生きたかが問われるよ!

一方イスラエルでは目まぐるしく王が代わる。謀反によって次々と王が変わり、神様に立ち返ることなく、滅びへと加速していく国の姿がここにある。悔い改めとは方向転換のこと。心を探り、今方向転換すべきことはないか思い巡らし、従う決断をしよう!

2020/7/14(火)

## Ⅱ列王記 15:23-38

北イスラエルにおける王達は、主の目に悪であることを行い続け、部下のペカが王のペカフヤを殺して自分が王となったように裏切りやクーデターが多く、同じ国民や家族を信頼できない深刻な国の状態の結果からアッシリアに捕囚されて行くようになりました(29)南ユダはヨタムが王となり母の信仰の影響を受けて主の目にかなうことを行いましたが、高き所は取り除かないゆえに(35)、アラムに狙われるようになっていきました。主に全く聞かなくなったイスラエルと主に頼りながら偶像も信じるユダの信仰は、時期はズレても滅びに向かいました。

神様のことばをもっと真剣に聞こう!そして曖昧にせず罪を悔い改めよう!!

2020/7/15(水)

## Ⅱ列王記 16章

南ユダ王国のアハズ王について記されている。彼は「主の目にかなうことを行わず」(2)、高き所を取り除くどころか忌まわしい偶像礼拝に積極的であった。その頃、アラムとイスラエルの連合軍がエルサレムに侵攻してきたがアハズを攻めきれず、重要な港であるエイラトを攻め、南ユダに圧力をかけた(5-6)。この時、アハズは神ではなくアッシリアを頼った(7)。さらにアハズはアッシリア王に気に入られようと、アッシリアの異教の祭壇と同じものをエルサレムの神殿に築き(10-11)、ソロモン時代に神に示された設計で作られた神殿を変え、自分好みの身勝手な礼拝を行った。これは主の言葉を信頼せず、人間の力に頼ることを優先した結果である。

自分は今、誰の言葉を最も信頼しているのか考えてみよう。

2020/7/16(木)

## Ⅱ列王記 17:1-23

エラの子ホセアが北イスラエルの最後の王となった。ホセアも主の目に悪を行った。真の神を認めつつ、他の神々も同居させるという矛盾した信仰を主が許すはずもなかった。

「こうなったのは、...」と続く7節以降の箇所を読んでみよう。イスラエルは立ち返ることをしなかったから、神はイスラエルが滅ぶことを止めなかった。

あれほど言われていたのに、と思うがこれが人の弱さである。あなたと神様の関係はどうだろうか。みこころに従う選びをしよう!!

今日は漫画の日 2020/7/17(金)

## Ⅱ列王記 17:24-41

私たちの信仰はアクセサリーのような信仰になっていないだろうか?

北イスラエル王国を倒したアッシリアは、イスラエルの首都サマリアに住みはじめた。主が送り込んだライオンの事件をきっかけに彼らは主を礼拝するようになった。でも彼らは主を礼拝しながら、他の神々も礼拝した。元の生き方は変えなかった。それは「取り付けたような」礼拝だった。

私たちが生き方を変えることなく必要なときだけクリスチャンになることがある。信仰生活が取り外し可能なアクセサリーのようにないか?ローマ 12:1,2 を読もう!真に神様と歩むために、次のことを祈ろう。

神様、今私の古い生き方を捨てます。私の霊と心を主が新しく変えてください。(エペソ 4:22-24)

2020/7/11(土)

## ルカ 9:51-62

イエス様はエルサレムへと活動の場所を変えようとしていた。十字架にかかる日が近づいていたんだ。

イエス様はイスラエル人が嫌うサラリヤ人を避けることもせず村に入ったけど、サマリヤ人は拒絶したね。偶像礼拝をしていたサマリヤ人はエルサレム神殿で礼拝する人を嫌っていたからなんだ。それを知って弟子のヤコブとヨハネは主のみわざを自分のもののようにして、彼らを滅ぼす提案をしたけど、イエス様は許さなかった。そして、その後イエス様は、主に従いついていくために必要なことを人々に語ったね。

私たちのすべての成功、力は主から与えられていることを心に留めよう。そして、イエス様にまっすぐついていく信仰が与えられるよう祈ろう!

2020/7/12(日)

## ルカ 10:1-16

みんなは宣教することについて、どういう風に考えているかな?宣教することは日本では難しいって思っているかな?今日の箇所ではイエス様が宣教について語られています。

まずイエス様は任務のために二人ずつ遣わされました。それは宣教の働きは決して楽な働きではなかったからです。今の私たちは学校や家庭、地域に遣わされていて独りぼっちに感じるかもしれません。でもそうではなく、祈りによって働きをともにする教会の仲間がいます!

また、収穫が多いことも語られています。私たちが宣教の実りが少ないと思っていても、神様は収穫が多いことを約束して下さっています。なので神様の約束を信じ、宣教のために奉仕しましょう!

収穫が多いと言ってもイエス様を拒む人は必ずいます。でもその責任はイエス様が取ってくださいます。だから私たちは結果を恐れずに宣教の場所に踏み出して行きましょう!